
編集後記

2009年3月現在、経済・金融市場のグローバル化とそのフラット化を背景にした金融市場の危機は、かつてない勢いで世界同時不況として我が国にも押し寄せ、私たちの経済生活はもちろん、日常的な教育活動の至る所で深刻なリスクと課題をつきつけています。高度な情報の収集と分析・処理が通常化してしまった状況下では、例えば、企業は在庫・生産調整と消費動向について先を争って先読みし、リスクに備えるのですが、そのようなめまぐるしい変転に、人間の感覚はともついでいけないという事態が生じています。私たちの日々の生活感覚においてはそれと実感できないのに、次の朝、目を覚ますと突如職を失っていたり、生活不安の中にあるといった速さででしょうか。

教育目的として、次の世代の人たちに、このような危機にあって、生きる力と迅速な情報収集と分析能力、即効的な探究力を育てていくことが重要であることは言うまでもありません。しかし他方で、教育者としては、表面的な経済・金融状況に関する目先の指標や報道に惑わされることなく、インビジブルに進行中の諸問題、新たな格差化、多元化する価値、多文化・他民族の共生、ジェンダー、イデオロギーの対立などに注視していくことも重要です。これらのインビジブルな次元に注意を傾ける感覚とともに、冷静に状況を分析し、判断できる力、問題状況を打開できる想像力と実践力を育てることが真に求められていることのように思われます。

前者の課題は、性急なカリキュラム改革や学力観となって現れますが、後者の課題については、直ちに成果が得られるような教育の題材とならないことからなかなか理解が得られないでしょう。しかし、中等教育に携わる私たちのミッションとしては、このような危機的な時代であるからこそ、真に人間の諸価値と社会の絶えざる発展のための人材育成のためにできることを究明すべきだと考える次第です。(編集委員、H)

中等教育研究センター紀要 第9号

2009年3月25日 印刷

2009年3月30日 発行

編集者・発行者 名古屋大学大学院教育発達科学研究科
附属 中等教育研究センター
代表者 松下晴彦
名古屋市千種区不老町 〒464-8601
名古屋大学教育学部附属中・高等学校校内
TEL&FAX: 052-789-2616
E-mail: n47132a@cc.nagoya-u.ac.jp
印刷所 名古屋大学消費生活協同組合印刷部
名古屋市千種区不老町 〒464-0814
